東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2009年6月12日

イスラームと変化

親愛なるムスリムの皆様。預言者ムハンマド（アッラーの祝福と平安がありますように）が伝えられ、説き明かされたアッラーのお言葉であるクルアーンは、その存在、生き方の教唆を世界がある限り続けていき、時代を超越し、常にその新しさと時代性を維持し、人々をいつでも前進させ、科学や技術の発展との間に矛盾を生じさせることもない、一冊の書です。この書物が人々に与えている注意や推奨、規則、奨励、命令、禁止事項、そして例え話は時代の経過によって変わることも、古くなることも、その価値を失うこともありません。崇高なるアッラーはこのことについてクルアーンで次のように仰せられています。「あなたの主の言葉は、真実公正に完成された。誰もかれの言葉を変えることは出来ない。かれは全聴にして全知であられる」（家畜章第１１５節）

過去と未来を包括するアッラーのお言葉であるクルアーンが変わらぬものであり、普遍的なものであり、時代を超越しいつでも人々を最も正しいものへと導く書物であることを私たちは完全に信じています。クルアーンの言葉は変わることはありません。しかし、人間は文明や文化、技術の面において発展するに連れ、クルアーンの理解と生活におけるその実践も変化することはありえます。クルアーンの意図するところはかわらなくても、その媒介となるものは変わることがあるのです。

例えば、クルアーンでは清潔であること、きれいにしておくことが命じられています。これは一つの原則であり、この原則は変わらないものです。しかし清潔であるための手段はいつでも発展し、変化していくものです。人が、体の隠すべき箇所を覆っていることは義務であり、この義務は変化しません。しかし隠すべき箇所を覆う衣装の布、形状、様式などは変化するかもしれません。クルアーンでは「かれらに対して、あなたの出来る限りの（武）力と、多くの繋いだ馬を備えなさい」（戦利品章第６０節）と命じられています。ここで触れられている馬は、一つの手段です。この手段は変化しえます。私たちの時代では、馬のかわりに動力装置を備えたもの、戦車、飛行機、ミサイルなどが用いられています。これらの手段はいつの時代においても発展し、変化するのです。また、「互いに事を相談し合って行う者」（相談章第３８節）「そして諸事にわたり、かれらと相談しなさい」（イムラーン家章第１５９節）という言葉により、信者たちには相談するという原則が与えられています。しかしここでは、相談要員がどのように形成されるべきなのか、どのような特性を持った人々によって成り立つものなのか、どのような組織の支えを受けるものとなるのかという点については詳しく述べられてはいません。これはつまり、相談の形やあり方は時代や条件によって定められる、ということを意味しているのです。

親愛なるムスリムの皆様。これらの例はさらに増やしていくことができるでしょう。ここで私たちが指摘したい真実とは、クルアーンの言葉やハディースの不変性です。ただ、その目的へと至るための媒介や、クルアーンやハディースではっきりと言及されていない、解釈や見解に委ねられている規則は変化し得るのです。イスラームのあらゆる命令と禁止事項は人間の幸福のためのものです。現世と来世で幸福になるために、イスラームを学び、よく理解し、命令や禁止事項に完全に従わなければならないのです。今日のフトバを預言者ムハンマドの次のハディースによって締めくくりたいと思います。「しっかりと結びつき、それに従った場合、決してあなたがたを迷わせることのない二つのものを遺していく。アッラーの書と、あなた方の預言者のスンナである」。